



2023年12月28日

各 位

会社名 株式会社カラダノート  
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也  
(コード番号：4014 東証グロース)  
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 長岡 秀周  
(TEL 03-4431-3770)

### よくある質問と回答 (2023年12月)

日頃より、当社へのご関心を賜りありがとうございます。当社 IR 活動に関連して、投資家様からお電話やメール等で個別にお問い合わせをいただくことがございます。基本にご質問に対しては、可能な限り速やかに個別にご回答させていただいておりますが、投資家様への情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただいております。

本公表は、毎月月末を目途に継続的に公開しております。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がありますが、直近の回答内容をその時点における最新の当社方針として公表させていただきます。

Q1. 住関連(かぞくのおうち)の事業進捗について教えてください。

現在、パートナー企業の獲得と、住宅購入に関心のあるユーザーに対してハウスメーカーとの面談提案をそれぞれ進めております。パートナー企業については、対応エリアの拡大と様々な要望にお応えするためのラインナップ拡充を方針に進めております。またユーザーへの面談提案は、当社のユーザー層が住関連に対する興味関心が非常に高く、想定以上の面談設定数で推移しており、増員し対応を進めております。

Q2. 住関連(かぞくのおうち)の成約課金モデルによる収益はいつから発生する見込みか教えてください。

ユーザーとの初回面談から成約に至るまでに要する期間は約半年として計画しております。成約課金モデルによる収益は第3四半期から発生を見込んでおります。

Q3. 第1四半期はPoC案件について、前四半期から減少するも、計画以上に受注・完了したという説明があったが、その理由を教えてください。

前四半期において、複数の大型案件を受注・完了させたため、第1四半期においては新規案件が減少する計画としておりました。しかし、大企業に対する提案が奏功し新規案件の受注及び完了に至り計画から上振れしております。継続して案件を創出するべく提案を行っております。

<本件に関する問い合わせ先>  
株式会社カラダノート  
IR 担当  
ir@karadanote.jp

すが、これまでの提案活動を通じて蓄積された知見によって、成約率が高まってきております。

Q4. 第1四半期は当初赤字見込みも黒字で着地したという説明があったが、第2四半期以降の営業利益はどのように見込んでいるか。

第2四半期以降の営業利益は、第1四半期以上に黒字幅を拡大し、通期でも黒字となる計画としております。現時点では、計画通り進捗しております。

■問い合わせ先

株式会社カラダノート

IR担当メールアドレス：ir@karadanote.jp

■IRウェブサイト：<https://corp.karadanote.jp/ir>

最新の決算短信や決算説明資料などの決算情報、情報や株主総会関連資料のほか、個人投資家様向けのページなどをご用意しております。

■サステナビリティページ：<https://corp.karadanote.jp/sustainability>

当社のマテリアリティマップや、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みをご紹介します。

■IRメールマガジン登録：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSecFipEzHZ014nd712jzRksnMumr-RbscesZZTGGzZ3WdCwYQ/viewform>

適時開示や当社からのニュースを随時ご案内いたします。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社カラダノート

IR担当

ir@karadanote.jp